

●国民健康保険事業 特別会計補正予算

既決の予算に歳入歳出それぞれ3747万円を追加し、歳入歳出総額を18億5937万円とするもの。

概要は、人件費の調整と、令和元年度決算に伴う翌年度繰越金の追加ならびに財政調整基金の積立金の計上によるもの。

可決(全員)

●介護保険事業特別 会計補正予算

既決の予算に歳入歳出それぞれ6286万円を追加し、歳入歳出総額を17億9303万円とするもの。

概要は、令和元年度の介護保険事業特別会計の精算額の確定に伴う繰越金、ならびに基金積立金と返還金の追加補正が主なもの。

可決(全員)

●四万十市及び宿毛市との定住自立圏の形成に関する協定の一部変更

平成22年1月19日に、四万十市並びに宿毛市と黒潮町との間で締結している協定において、

①圏域内に4年制看護大学を、四万十市や関係機関等と連携し、誘致に取り組む。

②宿毛フェリーの宿毛佐伯航路を削る。

以上の協定内容に、一部を変更するもの。

可決(多数)

●国民健康保険事業特別会計補正予算
既決の予算に歳入歳出それぞれ145万円を追加し、歳入歳出総額を8786万円とするもの。
概要は、医療従事者への慰労金、ならびに新型コロナウイルス感染症対策事業の備品購入等の追加補正を行うもの。

可決(全員)



集団検診の待ち合い風景
(土佐西南大規模公園体育館、入野)

討 論

反対 宮地 葉子議員



宿毛フェリーの宿毛佐伯航路を削る項目については異論はないが、看護系4年制大学の誘致について、今は少

うことは、現実味が薄いと思う。特に、幡多は地の利も悪く、高知市付近の同じような学校があれば、そこに学生は取られる

と思うし、たとえ学校をつくっても、それを経営していくということは非常に困難だと思う。経営が行き詰った場合はどう

するのか、協定書に盛り込めばどうなるのか、そんな不安を持っているので協定書の一部を変更するについては、反対する。

賛成 山本 久夫議員



この協定書だけではなく、幡多広域を含め様々な協定を結び、幡多地域ではそれぞれの市町村が頑張っている。

今はコロナ禍で大変だが、いろんな情報番組を見ると、田舎の評価は高くなっている。

宿毛市、四万十市と一緒に力を合わせてやるという傾向は、それはそれで結構だと思う。

先を見れば実現は厳しいかもしれないが、目標を持って幡多地域で共に動かなければ、単独の市町村で行なっても、問題解決にはならない。

広域でないと出来ないことがあり、しっかりと目標を持って動いていくことが大事だと思う。このことは現実味を帯びるであらうとの思いから、賛成する。